

# News Release

2019年12月19日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

## 点検しましょう。ほこりを払ってキレイに年越し ～5年で7件、配線器具の火災事故～

### 1. 事故の発生状況

2014年度から2018年度の5年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、配線器具の事故は、北海道で合計9件<sup>※2</sup>ありました。そのうち7件が火災事故です。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2014～2018年度）

| 発生年度   | 合計 |
|--------|----|
| 2014年度 | 2  |
| 2015年度 | 3  |
| 2016年度 | 0  |
| 2017年度 | 2  |
| 2018年度 | 2  |
| 合計     | 9  |

#### (2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2014～2018年度）<sup>※3</sup>

| 被害状況 |      | 合計 |
|------|------|----|
| 人的被害 | 死亡   | 0  |
|      | 重傷   | 0  |
|      | 軽傷   | 0  |
| 物的被害 | 拡大被害 | 7  |
|      | 製品破損 | 2  |
| 被害なし |      | 0  |
| 合計   |      | 9  |

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な事故事例

### (1) 延長コード（リコール製品による事故）

○2018年7月（北海道、年齢不明、性別不明、使用期間不明、製品破損）

事故内容：延長コード本体側のコードプロテクター部分が断線し、火花が出た。

事故原因：プロテクター部の樹脂材料（塩化ビニル）の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の肉厚や形状等が影響し、プロテクター部に集中的な曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

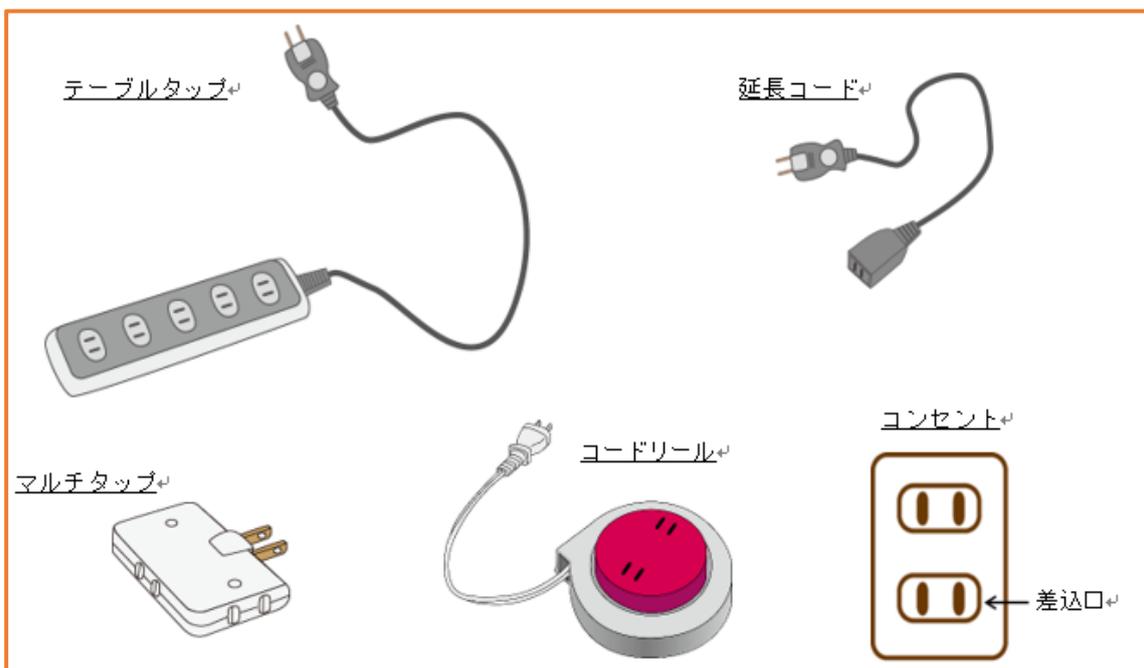
### (2) コードリール

○2018年11月（北海道、年齢不明、男性、使用期間不明、拡大被害）

事故内容：使用中のコードリール付近から出火し、建物を半焼した。

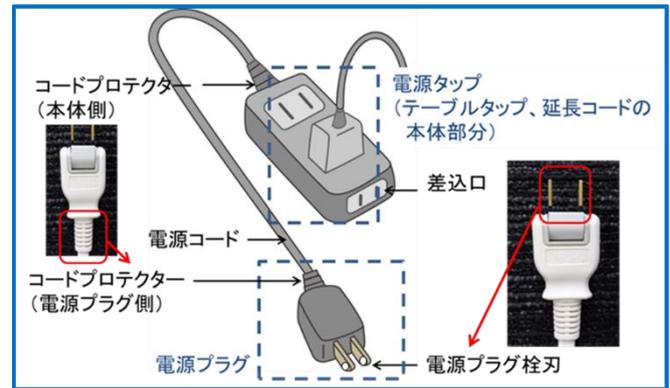
事故原因：コードリールのコードがほとんど巻き取られた状態で、巻き取り時の定格電流値を超える電気製品を接続して使用したため、コードが異常発熱して短絡・スパークが生じ、焼損したものと推定される。

### 主な配線器具



## 各部名称

3. 配線器具の事故を防ぐためのポイント
- ①電源プラグ及び電源タップに水分やほこりが付着しないように注意する。
  - ②コードリールは、使用時にコードを引き出すなど、取扱説明書の指示に従い正しく使用する。
  - ③電源コードは引っ張ったり無理な力を加えず丁寧に扱う。
  - ④接続可能な最大消費電力を超えて使用しない。
  - ⑤事故の予兆を見逃さず、不具合を感じたら使用を中止する。



4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 大井、鈴木、下川

電話: 011-709-2324